

2024年	12月			2025年	1月		
	11:15	13:30	15:00 イベント		11:15	13:30	15:00 イベント
1 日	一般☆	一般	一般	1 水	おにクル年始休館日		
2 月	一般※	一般※	一般	2 木	おにクル年始休館日		
3 火	貸館			3 金	おにクル年始休館日		
4 水	貸館			4 土	一般☆	一般	一般
5 木	一般※	一般※	一般	5 日	一般☆	一般	一般
6 金	一般※	一般※	一般	6 月	一般※	一般※	一般
7 土	一般☆	一般	一般	7 火	貸館		
8 日	一般☆	一般	一般	8 水	貸館		
9 月	おにクル休館日			9 木	一般※	一般※	一般
10 火	貸館			10 金	一般※	一般A	一般
11 水	貸館			11 土	一般☆	一般	一般
12 木	一般※	一般※	一般	12 日	一般☆	一般	一般
13 金	一般※	一般A	一般	13 月	一般☆	一般	一般
14 土	一般☆	一般	一般	14 火	おにクル休館日		
15 日	ちびっこ	一般	一般	15 水	貸館		
16 月	ちびっこ	一般※	一般	16 木	一般※	一般※	一般
17 火	貸館			17 金	一般※	一般※	一般
18 水	貸館			18 土	一般☆	一般	一般
19 木	一般※	一般※	一般	19 日	一般☆	一般	一般
20 金	一般※			20 月	ちびっこ	一般※	一般
21 土	一般☆	一般	一般	21 火	貸館		
22 日	一般☆	一般	一般	22 水	貸館		
23 月	おにクル休館日			23 木	一般※	一般※	一般
24 火	貸館			24 金	一般※	一般※	一般
25 水	貸館			25 土	一般☆	一般	一般
26 木	一般※	一般※	一般	26 日	一般☆	一般	一般
27 金	一般※	一般※	一般	27 月	おにクル休館日		
28 土	一般☆	一般	一般	28 火	貸館		
29 日	おにクル年末休館日			29 水	貸館		
30 月	おにクル年末休館日			30 木	一般※	一般※	一般
31 火	おにクル年末休館日			31 金	一般※	一般※	一般

※日程や内容などは事情により変更となる場合があります。詳細は公式ホームページでご確認ください。

ブラックホール通信Neo
編集発行:きたしんプラネタリウム
茨木市文化・子育て複合施設 おにクル7階
〒567-0888 大阪府茨木市駅前三丁目9番45号
Tel 072-631-0296 (おにクルオフィス)



プラネタリウム 定員56人
観覧料 大人400円 4歳から中学生200円 3歳以下無料

一般投影 約45分/要観覧料 当日券売
今夜の星空とともに解説員がご案内

一般 「土星の環の消失」(12/1~1/31)

一般☆ おあいこさんTime 土日祝11:15

内容は一般投影と同様。
多少の声や音を出してもおあいこさん☆
お子さま連れや不安のある方もお気軽に。

一般A おとなTime ※主に第2金曜13:30

内容は一般投影と同様。静かに星空を楽しむ時間。

一般※ 団体/一般 団体投影がない場合、一般投影

ちびっこ投影 約30分/要観覧料
WEB申込 12月分:12/1 1月分:1/6 10時~

小さなお子さまのための投影
12/15(日)・16日(月)・1/20(月) ①10:15 ②11:15

スペシャル投影 約60分/一律500円
『クリスマスSP』 WEB申込 12/1 10時~

フルートとギターの生演奏によるクリスマスソングを聴きながら、星空をお楽しみいただく大人向けプログラム
12/22(日) 16:30~17:30

『トワイライト投影』 約45分/要観覧料 当日券売
1/12(日) 16:15~
HAYABUSA -BACK TO THE EARTH-

プラネタリウム100周年記念企画 約60分/一律500円
『すばる望遠鏡』講演会 WEB申込 1/6 10時~
「関西産まれのすばる望遠鏡が広げた最新宇宙観」
講師:国立天文台名誉教授 家正則氏
1/19(日) 16:30~17:30

天体観望会 【自由参加】 申込不要・無料
望遠鏡で宇宙をみてみよう!
*雨天・曇天時中止 (WEB・SNSでお知らせ)
12/8(日)・1/11(土)
18:00~19:00 7F屋上広場

サイエンスアワー
[Full] 観覧料 / ①事前申込 ②当日券売
観覧料 大人400円 4歳から中学生200円 3歳以下無料

『おにクル×南阿蘇ルナ天文台【Live中継】』
2/8(土) ①17:00~②19:30~(60分)
WEB申込先着順/申込受付開始 12/1 10時~
3ページ目(中面)に詳しく紹介

[Medium] 100円 / 当日券売
12/21(土) 『星形ヒンメリを作ろう』
1/25(土) 『星砂カードオリオン座』

[Light] 無料 12:00~12:45
12/14(土) 『きらきらめがね工作』
※材料が無くなり次第終了
1/11(土) 『天文カードゲームSpace fight』

土星の環の消失

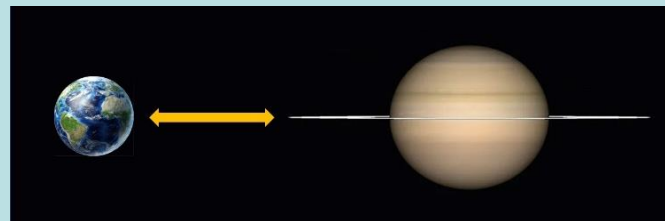
2024年 12月・2025年 1月の一般投影
冬の投影/今夜の星空と「土星の環の消失」

今夜の星空と季節のテーマを個性豊かな解説員がご案内します。

人々を魅了してやまない神秘的「土星の環」。その環は15年ごとに見えなくなります。何故見えなくなるのか、その理由とは…?

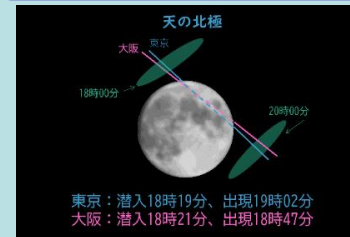
環が見えなくなる3つの条件①

環が見えなくなる条件は、大きく分けて3つに分かれます。その1つが、土星から見て地球が赤道方向にある場合です。土星の環は厚みが無く、とても薄いため、真横から見た時、ほとんど見えなくなります。このような場合は、土星の公転周期中(約29.5年)に2度起きるため、およそ15年ごとに、環が見えなくなるチャンスがあります。その他の条件とは?



Case1 土星から見て、地球が赤道方向に来た場合

12/8「土星食」にも注目!



12/8の日没後に、北海道、中国地方、九州北部を除く地域で、土星が月にかくれる土星食(星食)をみることができます。土星が月に潜入する(かくれ始める)時刻は、日没後(茨木では、18:21頃)のため、好条件で観測することができます。

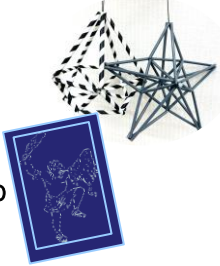
次回 2025年2月・3月のプラネタリウム

早春の投影 今夜の星空と「すばる-夜空に群れる星たち-」冬の夜空に輝く「すばる」という天体についてご紹介します。

作った作品はお持ち帰り頂けます。

12/21 (土) ○定員各10人
①12:20~12:50 ②14:20~14:50
『星形ヒンメリを作ろう』

1/25 (土) ○定員各10人
①10:30~11:00 ②14:20~14:50
『星砂カードオリオン座』



12/14(土) 材料がなくなり次第終了
『キラキラめがね工作』
街に輝くクリスマスイルミネーションをこのめがねで見てみると…??

1/11(土)○定員各10人
スペースファイト
『天文カードゲーム Spacefight』

熊本大学・宇宙論研究室の学生とOBらが作ったジャンケン元とした小学生低学年からでも遊べる簡単なゲーム!



1月1日 21時頃の星空

- ★ 1等星
- ★ 2等星
- ★ 3等星
- ★ 4等星

12月の日の入り後の南西の空に、宵の明星・金星が見え、それから土星や木星も出てきます。夜になると赤く光る火星も昇ってきます。1/12に火星が地球に最接近となり、火星の観察好機です。冬の夜空を彩る太陽系に注目してみましょう。

スピカ食

今年「食の当たり年」と言われており、クリスマス当日12/25未明にも、満月を過ぎた月(月齢23.5)が、おとめ座の1等星スピカを隠す「スピカ食」が起きます。大阪での潜入は3:11頃、出現は4:14頃です。

2024年の星食(星食の当たり年)		
5月 5日	火星食	
6月 20日	アンタレス食	
7月 25日	土星食	
8月 10日	スピカ食	
12月 8日	土星食	
12月 14日	プレアデス星団の食	
12月 25日	スピカ食	(大阪/3:11潜入、4:14出現)

ピックアップ

事前申込開始 12/1(日)~ ※WEB先着順

おにクル×南阿蘇ルナ天文台~茨木と南阿蘇【生中継】~
日時: 2/8(土) ①17:00~18:00【日の入り】 ※親子向け
観覧料 各回500円 ②19:30~20:30【今夜の星空】 ※大人向け



↑敷地内にある『星見ヶ原』



↑九州最大級の望遠鏡(口径82cm)

南阿蘇ルナ天文台とおにクルの共同企画!! 熊本県南阿蘇村と大阪府茨木市にある2つの館を中継でつなぎ、阿蘇の星空や大自然の中に建つ公開天文台で見る事ができる望遠鏡映像を、現地にいる個性豊かな「星のコンシェルジュ(天文解説員)」がご案内します。美しい星空を、リアルタイムでお楽しみください!

南阿蘇ルナ天文台

熊本県・阿蘇くじゅう国立公園内にある「泊まれる天文台」。感性にふれる体験に満ちた、心と体を癒やす体験型宿泊施設。個性豊かな星のコンシェルジュ(解説員)が天体宇宙を案内する。



解説員のひとことコラム vol.06 テーマ: 推し天体/星座 今回の担当: かみたまり

4人の解説員の「推し天体 or 星座」をご紹介します!



我が家にはウサギがいます。なので、「推しの星座」と言えば、取りも直さず「うさぎ座」です。うさぎ座は歴史の古い星座で、古代ギリシャの天文学者プトレマイオスが紹介する48星座の一つです。由来には諸説あるようですが、一説によると、ある男が「かわいい」からと島に持ち帰って放し飼いにしたら、あれよあれよと増えてしまふ島を食糧危機に陥れたため、その戒めのために星座にしたのだとか…。ウサギには何の罪もないのですが、現代に通じる話ですね。ところで、うさぎ座には「クリムゾン・スター」と呼ばれる赤みを帯びた変光星があります。430日ほどの変光周期を持ち、今年は6月ごろが最も明るかった(それでも6等級)ので、現在は逆に最も暗いころになります。観望会でご案内できないのが残念です。ちなみに「目の色と同じだ」と思ったそのあなた、赤い目をしているのは体毛が白色の種にほぼ限られます。「論より証拠」で、ウチの子の目、赤くないでしょ?



茨木プラネタリウムの50年 vol.06

天文観覧室

天文観覧室の歴史をQ&Aでたどります。

Q. 映像はどうやってうつしてたの?



天文観覧室の備品台帳をたどると、50年の映像投影機器の変遷をたどることができます。

- 1973年 絵画投影機・幻灯機(開館当時)
- 1980年 スライド投影機(ローリーマガジン付)導入
- 1990年 スライド投影機(ズームレンズ付)導入
- 2000年頃 プロジェクター・パワーポイントなど導入
- 2015年 全天映像(デジタルプラネタリウム)導入

星空の中に映し出される天体写真や解説図などは、「スライド」を作って投影していました。写真の「ネガフィルム」をご存じでしょうか? その親戚のような「ポジフィルム」とカメラを使って画像を撮影→写真店で現像→周囲を黒等のインクで塗るオペイク作業を施す→スライドマウントに入れて完成、と新しくスライドを作るには数日かかっていた。プロジェクターとパソコンが導入され、「昨夜撮影した土星」を紹介できるようになったのは大革命だったのです。

きたしんプラネタリウム
88星座カタログ☆3
vol.06 おうし座



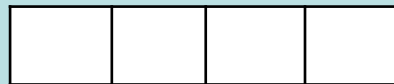
おうしの右目にあたる1等星アルデバランから、V字型にならぶ星々が、おうしの頭から角までを表わす。「すばる」の名で知られるプレアデス星団や「かに星雲」などの星雲もあり、見どころの多い星座。

	日の出	日没	月の満ち欠け	
12/1頃	6:46	16:47	12月	1月
12/15頃	6:57	16:48	下弦	23日 22日
1/1頃	7:05	16:58	新月	1日/31日 29日
1/15頃	7:04	17:10	上弦	9日 7日
1/31頃	6:57	17:26	満月	15日 14日

惑星の見え方	
水星	◎(12月下旬明け方東の空) / ○(1月上旬明け方東の空)
金星	○(12月夕方西の空) / ◎(1月夕方西の空)
火星	○(12月深夜から明け方) / ◎(1月ほぼ一晩中)
木星	◎(12月ほぼ一晩中) / ○(1月夕方から深夜)
土星	△(12月夕方西の空) / △(1月夕方西の空)

※宵…日没後の数時間

きたしんプラネタリウム
クロスワードパズル Vol.06



二重で囲まれたマスの文字を並べ替えてできることばは?

【縦のキーワード】

《解答はおにクル7Fプラネタリウム前に》

- ② すばるの別名
- ③ 冬の星座 一番人気〇〇〇〇座
- ④ 1階もつくるのキャラクター
- ⑥ 地面の下を走る電車
- ⑧ 竜宮城に行った〇〇〇〇太郎
- ⑩ カレー作りに欠かせない

【横のキーワード】

- ① 南極老人星ともよばれる一等星
- ⑤ 新しくするのは1月?4月?
- ⑧ おさかなの姿の誕生日星座
- ⑨ おうし座の赤い一等星
- ⑪ オリオン座の爆発間近な一等星

